



スーパーボールはなぜよくはずむの

アメリカで作られたスーパーボール

1966年、アメリカから天然ゴム性のボール「スーパーボール」が輸入されました。地上に落とすと、いつも同じ高さにはずむので、たちまち男の子を中心に人気のおもちゃの一つになりました。

元にもどろうとする力が、とても強いスーパーボール

バネやゴムには、元にもどろうとする強い力があります。これを弾性（だんせい）といいます。

スーパーボールを地面に落とすと、地面についたしゅん間、ボールはつぶれますが、すぐに元の形にもどろうとする力がはたらきます。そこで、ボールは反対の方向にはね上がるのです。

スーパーボールは、よくはずむゴムでできています。それも、おもに石油を原料とする合成ゴムで作られています。現在、スーパーボールは、合成ゴムの一種で、特によくはずむ「ポリブタジェン」で作られています。（監修 小川 格）

